



ザンビア共和国 感染症対策塗料普及促進事業 関西ペイント株式会社

ザンビア国の開発ニーズ

- 年間約40%の人々が蚊媒介感染症であるマalariaに罹患し、約3000人が亡くなっており、政府として2021年にマalaria撲滅を目標としている。

普及促進事業の内容

- 政府関係者に感染症対策塗料の機能や安全性などの理解促進を図り、フィールドサーベイを通じて実際にその有効性の評価を得る。
- 感染症の予防施策として、人々の暮らしや健康に貢献するべく、感染症対策塗料として広く普及に繋げる。

提案企業の技術・製品



製品・技術名

防蚊塗料: 蚊を撃退する塗料
SHIQUY: 抗菌、抗ウイルス性塗料

事業のポイント

- ・マalaria汚染状況の程度を分けて、フィールドサーベイを実施し、分析結果を学術論文へ投稿する。
- ・本製品は、日本において、2015年日経優秀製品・サービス賞にて「最優秀賞 日経産業新聞賞」を受賞

ザンビア国側に期待される成果

- マalaria対策では、蚊帳、屋内残留性噴霧(IRS)などを実施しているが、防蚊塗料も予防施策に加えることにより、住空間全体に予防効果が期待される。
- SHIQUYを塗装することにより、保健衛生施設などでの感染症の予防施策としての衛生環境向上が期待される。

日本企業側に期待される成果

現状

アフリカにおいては防蚊塗料の販売に至っておらず、効果検証及び政府関係機関の理解促進が必要。

今後

蚊媒介感染症の予防施策として広く認識され、ザンビアを皮切りに他のアフリカ地域への普及も目指し、グローバルヘルスへの貢献を目指す。